

伊達市立松陽中学生プレゼンツ 伊達市の「桃」を調査しました！

8月26日～28日にかけて、伊達市立松陽中学校では職場体験事業が実施されました。伊達市役所にも3人の生徒が訪れ、体験活動の一つとして、『伊達市の桃の魅力を伝える』ことをテーマに取材をしてもらいました。



🔍 おいしさの秘密って？

伊達地方の広大な土地と、盆地特有の朝晩の寒暖差が大きい気候が、おいしい桃の生育に影響しているそうです。



🔍 どんな種類があるの？

大きく15種類ほどに分けられるそうです。有名なものというと、とろけるような果肉と高い糖度を持ち合わせている「あかつき」、硬めの桃が好きな人に大人気！まるでシロップ漬けしたような甘さを持つ「さくら白桃」などがあります。



🔍 インタビューしてみました！

お買い物中の人にインタビューしたところ、「伊達市の桃は甘くてみずみずしく、何度も食べたくなります」とおっしゃっていました。桃をヨーグルトに入れる人は多いかと思いますが、中にはパフェにして食べている人もいようで驚きました！どんなパフェなのか食べてみたいです！！

道の駅伊達の郷りょうぜんの従業員さんにもインタビューしました。桃を買いにくるお客さんはどこから来るのか聞いたところ、「関東や、遠いところだと大阪などの関西からお越しただけのお客さまもいらっしゃいます」とのことでした。また、その中にはリピーターになる人もたくさんいるようで驚きました！



桃を食べた私たちの感想

おいしいとしか
言いようがない！！

がんばる伊達っ子を全力応援！ #幸せがじゅずつなぎになるリレートーク

伊達市の小中学校に通う伊達っ子たちが、今がんばっていることや将来の夢などを語るコーナーです。市内の伊達っ子をリレー形式でつないでいきます。子どもたちの真っすぐな思いを聞いてみましょう。



さとうここみ
佐藤心海さん
(6年生)

きつないとしや
橘内俊也さん
(6年生)

#41 伊達市立掛田小学校 (霊山)

夢はグラブ職人

ぼくは将来、野球のグローブを作るグラブ職人になりたいです。

グローブとの出会いは、小学一年生のときです。ライオンズベースボールクラブに入り、初めてグローブを買ってもらいました。五年生でリトルリーグに入り、源田壮亮選手モデルの硬式野球のグローブを買いました。そして、自分でグローブの手入れをし、今も大切に使っています。

グローブは、手入れをすればするほど手になじみ、上手にボールをキャッチできるようになります。ぼくは、そんなグローブを作る職人がすごいと思う、将来グラブ職人になりたいと思うようになりました。

グラブ職人になることができたなら、子どもでも上手にキャッチできるグローブやプロ野球選手が使うグローブも作れるようになります。

(橘内俊也)

ずっと変わらない 保育士になる夢

私には、幼いときからずっと変わらない将来の夢があります。それは、保育士になることです。理由は二つあります。一つ目は、私がこども園に通っているときに、こども園の先生たちの働く姿が格好良く見えて、その姿に憧れたからです。

二つ目は、私は子どもたちと接することが好きだからです。特に、子どもたちと遊ぶことが楽しく、そのような楽しい時間をたくさん過ごしたいと思っています。

保育士になることは、私にとって絶対に叶えたい夢なので、叶えるためにも今できることを一つ一つしっかりやっていこうと思います。また、高校、大学へと進学し、たくさん努力をしていきたいと思っています。そして、いつの日か、私が幼いときに憧れた先生たちのようになりたいです。

(佐藤心海)

次回 梁川小学校 (梁川)